



ID: 1422

科目名	更生保護【26年度生用】			コード			
英語表記	Offenders Rehabilitation						
担当教員名	坂本 秀泰			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	1		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択必修		
授業概要							
更生保護を中心に、犯罪・非行などの処遇制度とこれらの制度に携わる組織・団体・専門職とその役割を解説する。あわせて、この領域における相談援助活動や連携を行うにあたり必要となる基礎知識を解説し、活動の実際を紹介する。							
到達目標							
1. 更生保護の制度を理解する。 2. 更生保護に携わる組織・団体・専門職を理解する。 3. 犯罪・非行などの処遇における連携のあり方を理解する。 4. 犯罪・非行などの相談援助活動で必要となる基礎的知識を習得する。							
授業計画							
第1回	更生保護とは何か、なぜ更生保護を学ぶのか～近年の動向と課題から～						
第2回	更生保護の理念と歩み						
第3回	司法制度における更生保護の位置づけと役割(少年保護制度を含む)						
第4回	更生保護制度とその担い手①						
第5回	更生保護制度とその担い手②						
第6回	医療観察制度とその担い手						
第7回	関係機関・団体・専門職との連携						
第8回	犯罪被害者の支援、まとめ～再び近年の動向と課題を通して～						
第9回							
第10回							
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
受講態度と筆記試験により総合的な評価を行う。ただし、出席回数が、所定の回数をみたまない場合は、期末試験の受験資格が得られない。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				40%	0%	60%	0%
授業外学習			テキスト、教材				
毎回の講義で指定する重要ポイントをくり返し復習するとともに、その次の講義の前にふりかえって理解のつながりを保つこと。			更生保護制度(司法福祉)弘文堂 2,400円+税				
参考書			受講生へのメッセージ				
法務省保護局編「更生保護便覧」日本更生保護協会			日頃から、犯罪や犯罪被害などに関心をはらい、講義で学んだ知識をもって、自分なりの考察をするように心がけて下さい。				
キーワード							
犯罪加害者支援、少年保護、医療観察制度、犯罪被害者支援、社会内処遇、							